

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名（地区内集落名）	作成年月日	直近の更新年月日
小浜市	今富地区 <div style="display: inline-block; vertical-align: middle; border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; padding: 0 10px;">和久里</div>	平成29年10月	令和5年3月

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	46	ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	44	ha
③地区内における60才以上の農業者の耕作面積の合計	20	ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	8	ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0	ha
④地区内において今後中心経営体を引き受ける意向のある耕作面積の合計 (備考)	8	ha

2 対象地区の課題

<p>(1) 現状・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の中心部に近い和久里集落の農地は、市内でも比較的水はけがよく耕作条件のよい農地である。 ・北陸新幹線に伴う農地の転用期待があり、特に地区外の農地所有者の集積が進んでいなかったが、農地中間管理事業活用の意向調査を実施し、農地の集積・集約化への協力説明を行った結果、地区外の地権者や耕作している地区内の地権者の集積が進んだ。 ・既存の担い手の高齢化が進んでおり、将来的に営農を継続していくことに対して不安がある。 ・農地は、平成4年度に土地改良事業が行われ、1枚30a規模の農地が形成されているが、現代の農業機械に対応した面積ではなく、効率的な営農を行う事ができない。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

<ul style="list-style-type: none"> ・地域の中心経営体と位置付けている認定農業者2法人（（株）今富の宝等）と個人の認定農業者を中心に、集落の農地を集積・集約していく。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針（任意記載事項）

<p>(1) 農地の利用調整と農地等の地域資源管理の最適化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多面的機能支払交付金の活動組織である（一社）和久の里が、農地の保全管理や景観形成だけではなく、地区の農業の課題（農地の利用調整、条件不利地の維持管理、地域集積協力金の有効活用等）について、持続的に取り組む。
<p>(2) 農地中間管理事業の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（一社）和久の里が、農地中間管理事業を活用した農地集積を行うとともに、地区の農地利用を調整することで、担い手への農地集積や規模拡大等を支援する。
<p>(3) 法人の経営力の向上と規模拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後、農業者の高齢化による離農も想定されることから、先を見据えた担い手間の農地の配分協議を進め、規模拡大の以降がある担い手への集積を進めるとともに経営規模拡大に伴う経営発展を確実に図ることができるよう関係機関が連携していく。